

# 参考文献の書き方

図書館学習サポーター

小泉 晶平（自然科学研究科 修士2年）

◆参考文献とは？

◆参考文献の役割

◆参考文献の信頼性

◆参考文献の記述に必要な要素

◆書き方の例

◆本文との関連づけ

◆まとめと注意事項

☆おまけ：先輩たちがレポートを書くときに気を付けていること  
過去の失敗談を聞いてきました

# 参考文献とは？

2/12

参考文献



自分の文章の中で引用した他人の文章や意見、データの原文献

良い文章だから引用しよう

良い文章だから  
勝手に使っちゃえ！！



自分が参考にした文献を  
読者に示さなければならない



- **自身の主張の信頼性、新規性・独創性を明らかにする**  
→自身が過去の研究や文献、事実・データの調査と収集を十分かつ正確に行って、その上に立って新たな考えや意見を述べていることを証明する
- **先行する著者（先人・先輩）に対する敬意**  
→「巨人の肩の上」 先人・先輩の成果への敬意を示す
- **出典・出所の明示**  
→信頼性のある情報であることを読者が確認できるようにする
- **読者に対する情報提供**  
→読者の文献調査の助けとなる

## ●参考文献に求められる信頼性

- ・ 「誰が」「いつ」「何というタイトル」で書いたかが明確であること
- ・ 同じ文献を読者が入手可能であること

## ●適切でない参考文献

- ・ 著者が匿名や不明であるWebサイト、ブログ 等  
→信頼性を確かめられない
- ・ 常に更新されその情報が保存されないWebサイト  
→筆者が参照した情報と同じものを読者が参照できない

【例】 Wiki●edia 等

## ● 参考文献を記述する際に大切にすべきこと

- ・ 参考文献に読者が辿り着けるように十分に正確な文献情報を示す
- ・ 参考文献の閲覧必要性を読者が判断できる情報を含む

## ● 必要とされる文献情報（書誌要素）

- ・ **著者**に関する要素：著者名、編者名 等
- ・ **表題**に関する要素：書名、誌名、論文標題 等
- ・ **出版**に関する要素：版表示、出版者、出版年、  
巻・号・ページ 等
- ・ **注記**的な要素：媒体表示、URL、入手方法、入手日付 等

※参考文献の書き方は分野によって多少の相違があるが、参考文献欄の中で統一した記述がされており、その要素が識別できれば問題ない

# 書き方の例 (SIST 02 スタイル)

6/12

## ● 雑誌論文の場合

著者名. 論文名. 誌名. 出版年, 巻数, 号数, p. 始め-終わり.

【例】 中野泰河, 劉雪峰.

有限要素解の定量的な局所事後誤差評価について.

日本応用数理学学会論文誌. 2019. vol. 29, no. 4, p.362-382.

## ● 図書の場合

著者名. 書名. 版表示, 出版社, 出版年, 総ページ数p.

【例】 佐藤文広. 数学ビギナーズマニュアル.

第2版, 日本評論社, 2022, 170p.

- ・ 「ページ数p.」は総ページ数を表し、**図書全体を参照**した場合このように記載する
- ・ 「p. 始め-終わり」は**特定のページを参照**したことを表す

# 書き方の例（SIST 02 スタイル）

7/12

## ● Webサイトの場合

著者名. “ページ名”. サイトの名称. 更新日.  
入手先URL, (入手日) .

【例】 科学技術振興機構. “参考文献の役割と書き方”.  
科学技術情報流通技術基準. 2018.

[https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02\\_2007/main.htm](https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm),  
(参照 2023-06-18) .

- ここで挙げた表記方法がすべてではない（APA、MLA 等）
- 例にない場合でも参考文献を特定できる要素をこの順で記述すれば基本的には問題ない
- 迷ったときはその都度調べる or 学習サポーターに相談（おすすめ）



# 本文との関連づけ

8/12

## ●バンクーバー方式

- ・本文の引用箇所に  
引用順に連番を振る
- ・参考文献欄は  
連番（引用）順に記述する

## ●本文

この問題に関して渡辺は、  
~~という見解を示している<sup>(1)</sup>。  
一方、~~という見解も  
存在する<sup>(2)</sup>。

## ●参考文献

- (1) 渡辺〇〇. □□. △△, 1999.  
(2) 赤坂〇〇. □□. △△, 2010.

## ●ハーバード方式

- ・本文の引用箇所に  
文献の著者名・発行年を書く
- ・参考文献欄は  
著者名・発行年順に記述する

## ●本文

この問題に関して  
**渡辺(1999)**は、~~という  
見解を示している。  
一方、~~**(赤坂, 2010)**という  
見解も存在する。

## ●参考文献

- (1) 赤坂〇〇. □□. △△, 2010.  
(2) 渡辺〇〇. □□. △△, 1999.

- 今回紹介した形式以外にも様々な形式がある
- 参考文献に読者が辿り着けるように  
十分に正確な文献情報を示す
- 参考文献の閲覧必要性を読者が判断できる  
情報を含む
- 1つのレポート内では同じ形式で記述する
- 講義担当の先生、指導教員の指示に従う
- 困ったときは学習サポーターに相談！

## ●レポートを書くときに気を付けていること

- いきなり文章を書かず、書きたいことを箇条書きで並べて考える
- 課題が出たときにすぐに目を通して、どれくらい時間がかかるかを予測し、見通しを立てる
- 誰が見ても丁寧に作成したと分かるように書く  
先生に見てもらおう立場であることを忘れない
- 資料に記載されている指示は必ず守る
- 書いた文章を通して読んで確認する
- 同じ言い回しにならないようにする
- 分からない部分は友達と議論する

## ●レポートしくじり談

- 時間がなくて資料の図をコピーしてしっかり減点
- 計画性が無く5000字のレポートを1週間で仕上げる羽目になった
- 配られる資料だけでなく、シラバスに提示されている教科書や参考書をきちんと読むべきだった
- レポート課題を期限ギリギリに提出しようとしたこと  
様々な要因が重なり提出が間に合わないことがあった
- 期限内に解き終わらないことがあった  
(未提出にはしない 遅れても必ず提出する)

## ●参考文献

- ・ 科学技術振興機構. “参考文献の役割と書き方”. 科学技術情報流通技術基準. 2018.  
[https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02\\_2007/main.htm](https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm),  
(参照 2023-06-18) .
- ・ 藤田節子.  
レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方 .  
日外アソシエーツ , 2009. 144p.

【附属図書館所蔵 中央館 3F : 図書 , 816.5//F67 】

## ●謝辞

アンケートに協力いただいた11名の学部生